

授業科目	在宅保育				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21419J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP5-2 DP5-3			
担当教員	藤田 稔子、池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>2015年4月から施行された子ども・子育て支援法によって、地域型保育給付の一つとして居宅訪問型保育が位置づけられ、また、地域子ども・子育て支援事業の一環として一時預かり事業、延長保育事業、そして病児保育事業における訪問型保育事業が展開されるようになりました。さらに2016年度には仕事・子育て両立支援事業が創設され、企業主導型ベビーシッター利用者支援事業が始まりました。このように、我が国の保育サービスは多様化を見せ、今後の社会ニーズに対応できる柔軟なきめ細やかな機能を持つ家庭訪問保育について、特殊な知識および技術を修得することを目的として開講します。なお、本科目は、認定ベビーシッター資格取得のための必修科目です。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる 2. 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項が説明できる 3. 居宅での日常生活援助の基本的な技術ができる 4. 居宅での保育におけるあそびが展開できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	30	10	0	20	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)		20	10		10	20	60	
技能・表現 (DP5-3)		10			10	20	40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～4の全てを達成したうえで、自分で更に調べ学習等で内容を深め、詳細かつ丁寧に説明ができる。また、居宅における日常生活援助や保育内容を展開できる力を有している				<ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる 2. 居宅訪問型保育者に求められる基本姿勢と家庭訪問時の心構えについて説明できる 3. 家庭訪問時に必要になる日常生活援助にはどのようなものがあり、どうすればいいか説明できる 4. 居宅での保育におけるあそびの計画が立案できる 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション、居宅訪問型保育の概要(藤田) 本科目および認定ベビーシッター資格についてオリエンテーションをおこなった後、居宅訪問型保育について社会的背景を始め、制度について解説する	オリエンテーション 講義	予習 1:シラバスを読んてくる 予習 2:教科書 2~6、18~27、 92~97 ページを読んてくる 復習:講義内容をまとめる	30
2	テーマ:急速に増加している小規模保育(池田) 小規模保育に求められている社会的ニーズを知り、小規模保育の特徴を捉える	講義 演習(GW)	予習:授業中に提示する課題 復習:講義内容をまとめる	30
3	テーマ:居宅訪問型保育の運営と倫理観(藤田) 居宅訪問型保育の業務及び運営について解説する。また、家庭訪問時のマナーを説明し、倫理観について言及する	講義 演習(GW)	予習:教科書 97~143、220~ 228 ページを読んてくる 復習:講義内容をまとめる	30
4	テーマ:居宅訪問型保育の専門性(池田) 保育の専門性と保育マインド、家庭支援及び虐待について解説する	講義 演習(GW)	予習:教科書 7~15、144~ 167 ページを読んてくる 復習:講義内容をまとめる	30
5	テーマ:居宅訪問型保育におけるあそび(池田) 個別保育におけるあそびについて解説し、次回以降の演習に関するオリエンテーションをおこなう	講義 小テスト 1	予習 1:教科書 28~52、208~ 218 ページを読んてくる 予習 2:第 1 回~第 4 回までの 内容を復習し、小テストに備え る 復習:講義内容をまとめる	30
6	テーマ:保育技術実践 1【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 28~52、208~ 218 ページを読んてくる 復習:演習でおこなったあそび をノートに整理する	30
7	テーマ:保育技術実践 2【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 28~52、208~ 218 ページを読んてくる 復習:演習でおこなったあそび をノートに整理する	30
8	テーマ:保育技術実践 3【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 28~52、208~ 218 ページを読んてくる 復習:演習でおこなったあそび をノートに整理する	30
9	テーマ:保育技術実践 4【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 28~52、208~ 218 ページを読んてくる 復習:演習でおこなったあそび をノートに整理する	30
10	テーマ:保育技術実践 5【お世話】(藤田) 居宅における産後ケアについて解説し、新生児のお世話、特にあやし方や授乳時の抱っこ指導等を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 184~207 ページ を読んてくる 復習:演習でおこなった内容を ノートに整理する	30
11	テーマ:保育技術実践 6【お世話】(藤田) 居宅における産後ケアの家事支援のうち、特に産褥期の食事に関する技術を演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 184~207 ページ を読んてくる 復習:演習でおこなった内容を ノートに整理する	30
12	テーマ:保育技術実践 7【お世話】(藤田) 居宅における産後ケアの家事支援のうち、洗濯等について演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 184~207 ページ を読んてくる 復習:演習でおこなった内容を ノートに整理する	30
13	テーマ:保育技術実践 8【お世話】(藤田) 居宅における肢体不自由児等障がい児のケアについて演習でおこなう	実技演習	予習:教科書 173~178、234 ~235 ページを読んてくる 復習:演習でおこなった内容を ノートに整理する	30

14	テーマ:様々な家庭訪問保育1(池田) 送迎・同行保育、学童の保育、海外のこどもの保育について解説する	講義	予習:教科書236~241ページ を読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
15	テーマ:様々な家庭訪問保育2(藤田) 訪問型病児保育について解説し、最後に本科目の学びをまとめる	講義 小テスト2	予習1:教科書229~234ページ を読んでくる 予習2:今まで学んだことを復習し小テストに備える 復習:本科目の全ての復習をする	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本科目は、保育の既習科目が基となる応用的内容であるため、保育士資格取得にかかわるすべての科目を復習しておく必要があります			
テキスト	家庭訪問保育の理論と実際 公益社団法人 全国保育サービス協会・監修 中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の中で適宜ご紹介します			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	認定ベビーシッター資格を取得するためには、保育士資格取得見込み(必修科目および9単位以上の選択必修科目の単位取得)と本科目の単位取得が必要条件となります。 居宅訪問型保育は、施設型集団保育とはまた違った魅力があります。ぜひ、多様な保育サービスについても興味関心を広げてください			

達成度評価に関するコメント	<p>基本的に抑えて欲しい知識は、小テストで問いますが、保育はあくまでも実践学です。いかに保育者としてのゆるぎない技術を身につけるかが肝要だと思っています。達成評価の一番重要な点が、その技術獲得にあります。様々な新しい技を身につけてください。</p> <p>具体的な評価方法としては、</p> <p>(1)小テスト:授業中に2回実施します。時間は、1回目15分間テスト・2回目30分間テストを予定しています。(2)レポート:最終講で本講の学びについてレポートを時間内で書いていただきます。</p> <p>(3)提出物:個別保育のあそびの演習時に作成する手作</p>
---------------	--